

第29回技術情報検討会議事概要

1. 日 時:平成29年12月18日(月) 10:00~11:45

2. 場 所:原子力規制委員会13階 会議室 B

3. 出席者

原子力規制委員会

山中原子力規制委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制技監、山田原子力規制部長、青木審議官、片岡審議官、川崎安全規制管理官(実用炉審査担当)補佐、宮本安全規制管理官(研究炉等審査担当)、青木安全規制管理官(核燃料施設審査担当)、古作検査監督総括課課長補佐、古金谷安全規制管理官(実用炉監視担当)、金城安全規制管理官(核燃料施設等監視担当)、門野安全規制管理官(専門検査担当)、辻原技術基盤課長、永瀬安全技術管理官(システム安全担当)、深沢企画官(シビアアクシデント担当)、迎安全技術管理官(核燃料廃棄物担当)、平野地域連携推進官(国際室)、原国際室長、佐藤放射線防護企画課長、岩澤技術基盤課課長補佐、上田技術基盤課係員、高梨主任技術研究調査官(核燃料廃棄物研究部門)、菱田上席技術研究調査官(核燃料廃棄物研究部門)、菊川主任監視指導官(実用炉監視部門)、杉立総括係長(核燃料施設審査部門)、後神技術研究調査官(核燃料廃棄物研究部門)、一瀬放射線防護企画課係長

日本原子力研究開発機構

中塚規制情報分析室技術主幹

事務局

田口企画官、帯刀課長補佐、鳶澤課長補佐、片岡専門職、安岡専門職、根塚課長補佐、松田係員

4. 議題

(1) スクリーニングの状況について

- ① 国内外の原子力施設の事故・トラブルに係る情報の1次スクリーニング結果
- ② 最新知見のスクリーニング状況

(2) 要対応技術情報等の進捗状況

(3) 海外における規制動向や最新知見に係る情報について

1) 海外における規制動向

- ① 仏国でのポンプステーション内配管の耐震性不足に関するINESレベル2事象の報告
- ② 仏国での原子力発電所の非常用ディーゼル発電機でのレベル2事象

2) 最新知見に係る情報

- ① 断面積ライブラリによる遮蔽評価結果への影響比較

(4) 技術基準・制度への反映に向けた進捗状況

(5) その他

- ① 目の水晶体の等価線量限度の引き下げに係る検討状況について

5. 議事要旨

(1) スクリーニングの状況について

事務局より、資料29-1①及び資料29-1②に基づいて、平成29年10月17日から12月14日までのスクリーニングの状況について説明がなされ、その後技術基盤課より、資料29-1③に基づいて

技術基盤 G が実施している最新知見のスクリーニング状況について説明がなされた。資料29-1②については、INES-2 以上の IAEA 事故故障ニュース速報を暫定スクリーニング対象に加えたことが説明された。コメントがあれば1週間を目処に事務局まで連絡し、コメントを踏まえて事務局で検討・反映した上で、次回技術情報検討会で確定版として提出することが伝えられた。

(2) 要対応技術情報等の進捗状況

原子力規制企画課より、資料29-2に基づいて、規制対応する準備を進めている情報の累積リストについて説明がなされた。主な質疑は以下のとおり。

- ・ Y2015-17-01 の課題②③に関して、「米国の事象を踏まえた対応」とは切り離した上で基盤 G と規制部で対応を検討することについて了承されたが、今後の対応が明確に表現されるよう文章を修正すべきとの意見があり、関係者の了解を得た修正版を次回配布することとした。

(3) 海外における規制動向や最新知見に係る情報について

1) 海外における規制動向

① 仏国でのポンプステーション内配管の耐震性不足に関する INES レベル 2 事象の報告

原子力規制企画課より、資料29-3①に基づいて、暫定情報として報告がなされた。国内の溢水・耐震評価に関わる配管保全の状況については、JANSI との定例打合せや事業者面談にて確認していること、その際、配管の現場での肉厚管理方法と溢水・耐震評価との関係について、事業者に整理するよう依頼したことが報告された。

② 仏国での原子力発電所の非常用ディーゼル発電機でのレベル 2 事象

原子力規制企画課より、資料29-3②に基づいて、暫定情報として報告がなされた。国内では、使用前検査で耐震性を確認していることが説明された。

2) 最新知見に係る情報

① 断面積ライブラリによる遮蔽評価結果への影響比較

核燃料廃棄物研究部門より、資料29-3③に基づいて、使用済燃料貯蔵容器(輸送兼用)に関し断面積ライブラリ DLC23F/CASK-81 を使用した遮蔽計算が他の解析手法に比べて過小評価することについて説明がなされた。議論の結果、他の許認可事項で類似の問題があり得るかなどについて引き続き調査し、報告するようコメントがなされた。

(4) 技術基準・制度への反映に向けた進捗状況

原子力規制企画課より、資料29-4に基づいて、技術基準・制度への反映に向けた課題の進捗状況について説明がなされた。

6. その他

- ・ 事務局より、参考29-1、29-2、29-3及び29-4を第28回技術情報検討会提出資料の確定版とすることについて説明がなされた。
- ・ 放射線防護企画課より、参考29-5に基づいて、放射線審議会の水晶体部会における目の水晶体の等価線量限度の引き下げに関する検討の中間とりまとめについて状況報告がなされた。

以上